3 生活・環境

新規
拡充

小方地区まちづくり関連事業

592,577 千円

《 担当 企画財政課
監理課
土木課
都市計画課 》

小方地区のまちづくり基本構想に沿ったまちづくりを推進するため、次の事業を実施します。

<p>新 小方4号線歩道整備 工事 【予算書151号】</p>	<p>45,000 千円</p>	<p>通学路合同点検で、対策必要箇所として抽出された歩道の整備を行い、通学児童及び歩行者の安全性の向上を図ります。</p>
<p>小方地区のまちづくり道路設計等業務 【予算書154号】</p>	<p>34,000 千円</p>	<p>小方地区のまちづくり基本構想に基づく道路計画について検討を行い、関係機関と協議を進めます。</p>
<p>小方4号線道路改良 工事 【予算書154号】</p>	<p>13,000 千円</p>	<p>県で実施予定の臨港道路交差点に接続する未改良区間の工事を行います。</p>
<p>港湾施設の修築・改良事業 【予算書158号】</p>	<p>92,000 千円</p>	<p>県が実施する小方港の橋りょう架替に伴う工事などの費用の一部を負担します。</p>
<p>小方地区のまちづくり事業 (道の駅基本構想・基本計画等策定) 【予算書160号】</p>	<p>22,000 千円</p>	<p>小方地区のまちづくり基本構想に基づく旧小方中学校跡地の活用として、道の駅の基本構想・基本計画の策定及び民間活力導入可能性調査を行います。</p>
<p>新 小方地区のまちづくり事業 (小方新駅検討業務) 【予算書160号】</p>	<p>5,000 千円</p>	<p>小方地区のまちづくり基本構想の実現に向けて、JR小方新駅の設置のために必要な調査・検討を行い、地元や関係機関との協議を進めます。</p>

<p>拓 晴海臨海公園整備 事業 【予算書164～165頁】</p>	<p>381,577 千円 (事業費 281,020千円、 基金積立 100,557千円)</p>	<p>晴海臨海公園では、子どもから大人まで幅広い世代が集える憩いの場所となるよう、大型遊具「ロボボファクトリー」や遊具広場の整備、シーサイドゾーンの南北を結ぶ幹線園路や展望施設、デイキャンプが楽しめる海辺の広場を整備しています。</p> <p>令和7年度は、令和6年度に引き続き西側エリアの駐車場等を整備するほか、多目的グラウンド内のシェルター整備や、遊具広場の人工芝舗装を行います。</p>
---	---	--

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

1 快適で魅力的な都市空間の創造

地籍再調査事業

17,953 千円 予算書 147 ページ 《 担当 監理課 》

精度の高い地図を作成し、地図混乱地域の解消、土地の有効活用の促進、公共事業の円滑化などを図るため、地籍の再調査を実施します。

令和7年度は、第1調査地区（南栄一丁目）の地籍図及び地籍簿案の閲覧、第2調査地区（西栄三丁目の一部）の現地調査及び測量、第3調査地区（西栄二丁目）の現地調査に必要な地図等の作成を行います。

大竹駅周辺整備事業

96,200 千円 予算書 161～162 ページ 《 担当 都市計画課 》

JR大竹駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るため、駅の橋上化、東西地区を結ぶ自由通路の整備、東西広場の改良・整備を一体的に進めています。

令和7年度は、令和6年度に引き続き西口駅前広場整備工事を行うとともに、整備した共同溝内への電線引込等工事を行います。

また、大竹駅西口駐輪場等の公共用地の有効活用を図るため、土地活用の可能性を調査・検討します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

駅前油見線道路改築事業

13,000 千円 予算書 162 ページ 《 担当 都市計画課 》

大竹駅西側地区において、駅周辺へのアクセスなど、住みやすく利便性の高い生活道路網の形成や、災害時の避難路や延焼防止などの防災機能を強化するため、都市計画道路駅前油見線（W=16m L=約150m）を整備します。

令和7年度は、事業認可の申請及び詳細設計業務を行います。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

2 きれいで利便性の高い道路環境の創造

橋りょう等長寿命化事業

117,500 千円 予算書 150 ページ 《 担当 土木課 》

橋りょう長寿命化修繕計画等に基づき、健全度の低い道路橋りょう等の予防保全のため、計画的な補修を行います。また、健全性の診断のため、5年に1回定期点検を実施しています。

調査設計	3,500 千円	橋りょうの補修箇所や工法を検討するため、令和7年度は大迫谷尻線11号橋の調査設計を行います。
定期点検	17,200 千円	小方橋、唐樋橋、正木橋など29橋、玖波隧道1か所の定期点検を行います。
橋りょう補修	96,800 千円	令和7年度は、4橋の断面のひび割れ等の補修及びJR委託工事による城山陸橋の塗装塗替等の補修を行います。

道路・橋りょう新設、改良事業

139,000 千円 予算書 153、154 ページ 《 担当 土木課 》

交通の円滑化と安全性の向上のため、市道の改良等を行います。		
白石元町1号線道路改良	110,000 千円	通学路であり、未就学児も多く通行する大竹中学校と大竹保育所に挟まれた狭小道路の拡幅（両側歩道）及び歩道床版改良工事（L=200m）を行います。
北栄南栄1号線道路改良	29,000 千円	大竹駅東口前道路の無電柱化及び水路の暗渠化のための設計（L=約450m）を行います。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

道路・橋りょう維持事業

80,000 千円 予算書 152 ページ 《 担当 土木課 》

道路利用者の安全を確保するため、日常的な点検や定期点検で道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し、必要な対策を行います。 令和7年度は、玖波青木線、西栄本町1号線、小栗林後原線の路面を補修します。
--

県道等整備事業

10,000 千円 予算書 154 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹湯来線などの道路改良事業の費用の一部を負担します。

岩国大竹道路建設事業

－ 千円

《 担当 監理課 》

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。
(国の事業のため、事業費は計上していません。)

3 生活を支える公共交通の充実

新規
拡充

地域公共交通整備事業

232,886 千円 予算書 61～62 ページ 《 担当 自治振興課 》

市民の移動環境を確保・維持するため、次の事業を行います。

拡 こいこいバス更新 事業	91,023 千円 (事業費 60,835千円、 基金積立 30,188千円)	車両の老朽化のため、こいこいバスの車両 2台を更新します。車両は、すべての人が利 用しやすい構造や機能に配慮するとともに、 より安全な運行ができるよう安全装置を取り 付けます。 また、利便性を高めるため、降車時に読み 取り機にICカードやICOCAアプリの入ったス マートフォンをタッチするだけで運賃が支払 えるバスICOCAシステムを導入します。
新 公共交通運転士 確保支援補助事 業	1,800 千円	地域公共交通の運行を担う運転士を確保 し、市内の地域公共交通の安定的な運行を維 持していくため、一定の条件を満たした個人 または交通事業者に対して、第二種運転免許 取得に要した費用の1/2（上限30万円）を補 助します。
公共交通経費負 担及び補助事業	140,063 千円	こいこいバス、大竹・栗谷線バス、坂上線 バス、デマンド型乗合タクシーの運行経費の 負担及び谷和、広原地区タクシー運行や阿多 田～小方航路の補助を行います。 デマンド型乗合タクシーについては、新規 導入地域への支援を行います。

漁港施設維持管理事業

156,000 千円 予算書 140 ページ 《 担当 土木課 》

漁港施設の長寿命化のため、計画的に各施設を補修します。		
玖波漁港施設補修事業	75,000 千円	3号防波堤の補修工事を行います。
阿多田漁港施設補修事業	81,000 千円	フェリーが発着する本浦中浮棧橋の改良設計業務と本浦西浮棧橋の補修工事を行います。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

港湾施設の修築・改良事業

108,250 千円 予算書 158 ページ 《 担当 監理課 》

県が実施する大竹港における御幸地区の護岸工事や東栄地区の臨港道路整備などの費用の一部を負担します。

拡充

住宅改修等補助事業

16,625 千円 予算書 166 ページ 《 担当 都市計画課 》

<p>住宅・空き家等の改修・除却等に要する費用の一部を補助します。 令和7年度は、一部補助事業の対象を拡げるとともに補助上限額を引き上げます。</p>	
<p>木造住宅耐震診断補助事業</p>	<p>戸建木造住宅等に対して、耐震診断に要する費用の2/3（上限3万円）を補助します。 ※要件：市に登録された診断資格者による耐震診断</p>
<p>拡充 木造住宅耐震化促進支援事業</p>	<p>5,375 千円</p> <p>耐震化を促進することを目的に行う耐震改修工事や現地建て替え工事に要する工事費の80%（上限115万円）、非現地建て替え工事や除却工事に要する工事費の23%（上限97.86万円）を補助します。 ※要件：昭和56年5月31日以前に着工された耐震性のない市内の木造住宅（区域要件等有り）</p>
<p>ブロック塀等除却補助事業</p>	<p>道路に面する倒壊の恐れのあるブロック塀等の除去に要する費用の2/3（上限15万円）を補助します。 ※要件：ブロック塀等除却補助事業実施要綱に定める補助対象ブロック塀等の除去</p>
<p>拡 住宅リフォーム事業</p>	<p>11,250 千円</p> <p>居住環境の向上や定住促進を図るため、リフォームに要する費用の1/10（上限25万円、耐震住宅リフォーム及び空き家住宅リフォームの場合は上限50万円）を補助します。 ※要件：耐震住宅リフォームは木造住宅耐震化促進支援事業の活用物件、空き家住宅リフォームは市空き家バンク登録物件</p>
<p>拡 特定空家等除却補助事業</p>	<p>老朽化し、近隣や道路に被害を与えるおそれのある危険な空き家の除却工事に要する費用の4/5（上限50万円）を補助します。 これまで、特定空家のみを補助対象としていましたが、令和7年度は特定空家に至る前の段階の危険空家も補助対象となるよう制度を拡充します。 ※要件：市に認定された空き家</p>

6 暮らしを支える上下水道の整備

【水道事業会計】

上水道配水施設改築更新事業

195,400 千円 水道事業会計 37~38 ページ 《 担当 上下水道局 》
予算書

老朽化する水道配水施設（管路・配水池）について、施設の更新及び耐震化を行います。

また、次年度以降の更新箇所の設計業務を行います。

- ・配水管改良工事（事業費：176,500千円）
（全体延長 1,170m：元町二～三丁目、南栄二丁目、白石一丁目地内）
- ・配水管改良実施設計業務（事業費：18,900千円）
（全体延長 2,240m：湯舟町～黒川三丁目・玖波四丁目、新町三丁目、北栄～西栄三丁目地内）

【下水道事業会計】

大竹下水処理場共同処理整備事業 (し尿等受入施設整備)

85,000 千円 下水道事業会計 113 ページ 《 担当 上下水道局 》
予算書

し尿・浄化槽汚泥の受入・前処理施設を令和9年度末までに整備します。

令和7年度は、し尿・浄化槽汚泥受入れ施設の建設工事及び設備工事を実施します。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください

大竹下水処理場改築更新事業

440,000 千円 下水道事業会計 112 ページ 《 担当 上下水道局 》
予算書

下水処理場の老朽化に伴い、機械・電気設備の改築更新を行います。

令和7年度は、汚泥掻き寄せ機（下水処理により発生する汚泥を集める設備）などの改築更新工事を行います。

7 環境にやさしい持続可能なまちづくり

地域不法投棄対策事業

13,775 千円 予算書 112~113 ページ 《 担当 環境整備課 》

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係部署と緊密に連携し、地域住民の協力を得ながら、不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設監視カメラの効果的な活用などの不法投棄防止の諸施策に取り組みます。

また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

環境衛生推進事業

6,967 千円 予算書 113~114 ページ 《 担当 環境整備課 》

公衆衛生推進協議会が取り組んでいるごみステーションの維持・管理や環境美化啓発看板の配布、花いっぱい運動などの地域に密着した環境美化活動を支援することで、きれいで快適なまちづくりを推進します。

ごみ減量化・資源化促進事業

5,610 千円 予算書 125 ページ 《 担当 環境整備課 》

不要なものを買わない（リフューズ）、ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の4Rを実践する取組を積極的に推進します。

ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組めます。

環境学習事業

1,880 千円 予算書 128 ページ 《 担当 環境整備課 》

市の環境の現状を、多くの市民に理解してもらうため、体験型の環境体験学習や環境に関する行事等を開催するなど、効果的な環境啓発活動に取り組めます。また、二酸化炭素の排出量削減に資する行動等の地球環境にやさしい行動を促す取組も充実します。

8 生活環境に配慮した墓地等の管理

新規

斎場管理事業（屋上防水等改修事業）

62,330 千円 予算書 115 ページ 《 担当 環境整備課 》

施設の長寿命化のため、斎場の屋上防水等改修工事を行います。

※ 35 ページの「令和7年度主要建設事業実施MAP」をご覧ください